

■大石誠之助 社会主義者・キリスト者、医師。熊野新宮で活動、ネットワークの結び目となり、大逆事件で処刑された。

おおいしせいのおすけ

大政奉還・・・1867＝ 紀伊国新宮仲之町で、大石増平の子に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

明治6年政変 1873＝ 6歳：

三つの内乱・1876＝ 9歳：

明治14年政変1881＝14歳：

内閣発足・・・1885＝18歳：

同志社英学校英語普通科中退後、

神田共立学校で英語を学び中退。

帝国憲法発布1889＝22歳：

大津事件・・・1891＝24歳： 渡米し、ワシントン州ワラワラ市のセントポーロ中学校入学。

大本教・・・1892＝25歳： 卒業し、オレゴン州立大学医科に入学。

アメリカ留学中、コックのアルバイトをして、社会の差別問題を感じ始める。

日清戦争始・・・1894＝27歳：

日清戦争終・・・1895＝28歳： 卒業し、モンリオール大学で外科学を学んだ後、帰国。兄大石余平の遺児伊作を引き取る。

白馬会・・・1896＝29歳： 父が死去。医師を免許取得し、*郷里新宮町で医院を開業。宮本守中が{熊野新報}創刊、改革(革新)派の政論の拠り所となり、佐藤豊太郎(佐藤春夫の父)らと支援。

八幡製鉄始・・・1897＝30歳： {團珍}に、情歌・狂歌・狂句が頻繁に投稿・掲載。この年、高木顕明が新宮の浄泉寺に入る。

子規句歌革新1898＝31歳： 伝道師間宮小五郎がキリスト教新宮教会に着任。医院を閉鎖し、南方遊学の準備。

Bushidou・・・1899＝32歳： 間宮小五郎らが俳句結社{金曜会}を結成、新派俳句隆盛の気運生じ、高木顕明が浄泉寺住職に就任。_伝染病研究のため、シンガポールの植民地病院を経て、インドのボンベイ大学に留学し、*滞在中、カースト制の実態を知って、社会主義の書物を読み始め、社会主義に目覚める。

ピアノ国産化・・・1900＝33歳：

田中正造直訴1901＝34歳：

教科書疑獄・・・1902＝35歳：

日比谷公園・・・1903＝36歳：

鶯亭金升から立机を許され情歌の宗匠となり、会報に「変哲学的情歌観」を寄稿、社会主義を理想とすると説く。{社会主義}にも情歌を投稿。

日露戦争始・・・1904＝37歳：

長女鱈が誕生。{太平洋食堂}を開き、自ら料理人として西洋流の食生活(食堂内に、新聞雑誌縦覧処、楽器、室内遊具器具なども設置)を紹介し、堺利彦が主宰していた{家庭雑誌}に記事を寄稿するうち、*幸徳秋水や堺利彦らと親交するようになり、自宅に社会主義者らが集うようになって行く。{社会主義}に「熊野通信」を寄稿、中央の社会主義雑誌に登場、{週刊平民新聞}に「紀州熊野の社会主義」が紹介され、自らも投稿。

日露戦争終・・・1905＝38歳：

満鉄発足・・・1906＝39歳：

荒畑寒村、田辺の『牟婁新報』社に入社。新宮町長に宮本守中が就任。_各所での演説も始める。

韓国反日暴動1907＝40歳：

アラクイ創刊・・・1908＝41歳：

弘教界の重鎮大内青鸞が新宮で講演。大内に会い、のち大内批判の文を発表。自宅に{牟婁新報}新宮支局開設。_来訪した幸徳秋水と熊野川で海老掻きを楽しみ、上京して幸徳を訪問、大阪の同志たちと座談会を開くなどしたが、いずれも、のちに“大逆事件”の共同謀議とされる。堺利彦や山川均による金曜講演会も、彼らが検挙されて中止、{日本平民新聞}は廃刊となる。

伊藤博文暗殺1909＝42歳：

_自宅で新年会開いたのも、後に“大逆事件”の共同謀議とされ、成石勘三郎に爆裂弾の原料となる薬品を与えたとされる会食。この頃、マクス・バキンスキーの「道徳非認論」、クロボトキン講演「国家論(国家の歴史的任務に就いて)」「法律と強権」を翻訳し、秘密出版。新宮医師会に退会届。和歌山県知事後任に、警視庁思想取締担当だった川上親晴知事が就任。

韓国併合・・・1910＝43歳：

和歌山丸が暴風で沈没したり、ハレー彗星の最接近で、流言、噂、不安を駆り立てなか、沖野岩三郎と、新聞型雑誌{サンセット}を発刊するが、*宮下太吉が爆発物製造容疑で逮捕されたのを契機に、大逆事件となり、沖野岩三らとともに拘束され、{時事新報}{報知新聞}が初めて報道すると、ロイター電やAP電を通して世界の代表的な新聞で報道されて、英米で抗議の運動が起こるが、旧知の与謝野寛が、文学者で弁護士の平出修に弁護を頼むも、

大逆事件判決1911＝44歳：

*いわゆる紀州グループの6名全員に死刑判決が出、わずか6日後、処刑された。